

鉛

クロム

DNT

PCB

アスベスト

鋼構造物

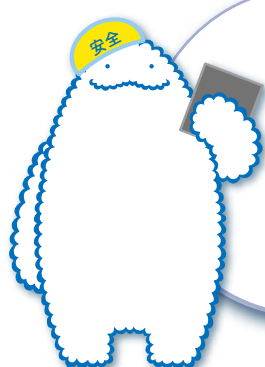
塗膜の有害物質分析

■過去の塗膜に潜む有害物質

これまで塗料には、PCBや鉛、クロム、アスベストが品質向上や施工性向上のために用いられていましたが、現在その有害性によって使用が禁止または制限されています。しかし、過去に上記の**有害物質を含む塗料が、橋梁や水門などの鋼構造物、石油貯蔵タンクやガス貯蔵タンクのプラントなど広い分野で、使用されていた可能性があります。**そのため、剥離や除去作業を行う際には作業者の健康障害の予防や周辺環境への配慮、塗膜を処分する際には適切な廃棄物処理を行わなければなりません。

また、書面調査や現地調査で塗膜に有害物質含有の可能性があった場合は、分析を行う必要があります。

■含有試験と溶出試験



含有試験と溶出試験は

目的が異なります

含有試験

溶出試験

塗膜除去における作業者の
健康障害を防止するため

**適切な廃棄物処理を
行うため**



健康障害防止にかかわる基準 〈含有試験〉

項目	鉛	クロム	PCB
試験方法	含有試験		
基準（値）	検出されないこと	1% ※1	
基準値を超えた場合の適用規則	鉛中毒予防規則	特定化学物質障害予防規則	

※1：1%は10,000mg/kg

廃棄物処理にかかわる基準 〈溶出試験〉

項目	鉛	六価クロム	PCB
試験方法	溶出試験		
基準（値）	0.3mg/L	1.5mg/L	0.003mg/L
基準値を超えた場合の適用規則	特別管理産業廃棄物 ※1		

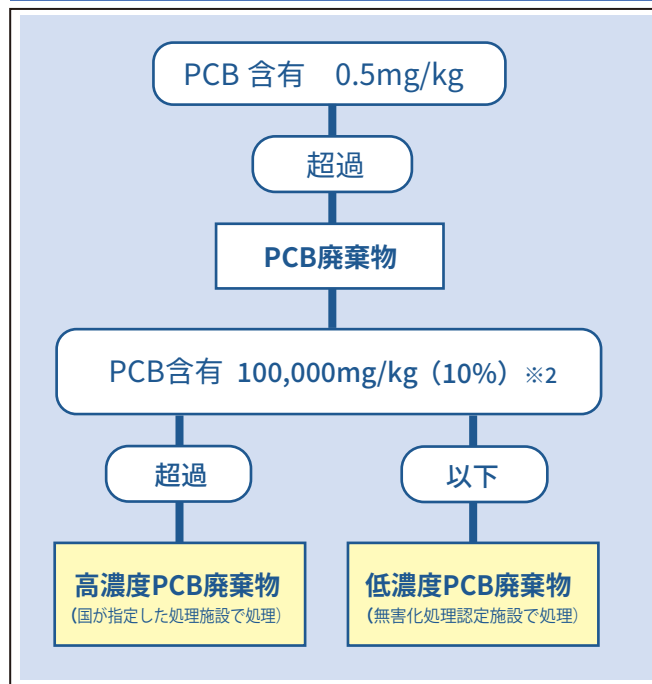
※1 基準値以下のものは産業廃棄物として処理して下さい。

※2 汚泥、紙くず、木くず又は繊維くずその他、廃プラスチック類のPCB汚染物の基準。

注1：PCBを含む油が自由液として明らかに存在していない場合の該当性判断基準。

注2：廃棄物処理の対象となる項目は全25項目ですのでご注意ください。

廃棄物処理にかかわる基準 〈含有試験〉



■分析方法

鉛・クロム・PCB

項目	分析方法	報告下限値	必要試料量 (乾燥状態)
含有試験	鉛	JIS K 5674:2019 鉛・クロムフリーさび止めペイント 付属書A-塗膜中の鉛の定量	1mg/kg
	クロム	JIS K 5674:2019 鉛・クロムフリーさび止めペイント 付属書B-塗膜中のクロムの定量	1mg/kg
	PCB	低濃度PCB含有廃棄物に関する測定方法（第5版）第2章8.塗膜くず	0.5mg/kg
溶出試験	鉛	産業廃棄物に含まれる金属などの検定方法（環境庁告示13号）	0.01mg/L
	六価クロム		0.02mg/L
	PCB		0.0005mg/L

アスベスト

JIS A 1481-1(偏光顕微鏡法)による定性分析が可能です

環境省が発令した大気汚染防止法改正の事務連絡において、**アスベスト事前調査対象外**は、道路法（1952年法律第180号）第2条第1項目に規定する道路のうち道路土工、舗装、**橋梁（塗膜を除く）**と記載されています。
そのため、**橋梁塗膜もアスベスト事前調査対象**となります。

結果ご報告までの流れ

お問い合わせ

下記記載の窓口までお問い合わせ下さい。

試験の目的、項目、方法、基準値等を確認させていただきます。
コールセンターなどその他、採取・分析を実施したい項目がございましたら、ご相談下さい。
ご依頼の際は**依頼書にご記入いただいた後**、御見積書を提出いたします。

試料受取

必要試料量をご用意いただきます。

採取も含めて依頼の際はご相談下さい。

分析

**分析納期は検体数によりますので、
都度お問い合わせ下さい。**

ご報告

分析結果報告書と請求書を送付いたします。

基準を超えた残試料はご返却いたします。

お気軽にご相談下さい！

お問い合わせ先

DNT 大日本塗料株式会社

構造物塗料事業部 マーケティンググループ
cfa.info@star.dnt.co.jp

●東京(担当:小西)

〒144-0052

東京都大田区蒲田5-13-23(TOKYU REIT蒲田ビル8F)

TEL 03-5710-4502 FAX 03-5710-4520

●大阪(担当:青木)

〒542-0081

大阪市中央区南船場1-8-11(SRビル長堀7F)

TEL 06-6266-3119 FAX 06-6266-3159

